

第六期中期経営計画の実施状況

第六期中期経営計画の計画期間の全体を通じた総合的な点検と報告は、次のとおりです。

(1) 具体的施策の実施状況

第六期中期経営計画における具体的施策の実施状況をまとめました。

項目			目標	R4 状況	R5 状況	R6 状況	評価	実施内容・分析	
収益確保対策	1-1	地域医療支援病院の認定取得	実施	検討	検討	実施 (紹介受診重点医療機関)	○	<ul style="list-style-type: none"> ・R4 医療制度見直しで新設された紹介受診重点医療機関をまず目指すこととし、R6.7に紹介受診重点医療機関として公表 ・連携だより・連携ガイドブックを発行するとともに紹介患者向け Web 予約システムを稼働するなど紹介・逆紹介を強化し、紹介率・逆紹介率ともに大きく改善 	
		地域医療支援病院の認定取得	65%	59.3%	51.7%	69.8%	○		
		地域医療支援病院の認定取得	44%	56.3%	58.5%	70.1%	○		
	1-2	ベッドコントロールの強化	実施	実施	実施	実施	○	<ul style="list-style-type: none"> ・平均在院日数は R6 に目標を達成する見込だが近隣の公立病院より長く更なる改善が必要 ・新規入院患者数は増加傾向にあるものの目標を下回った。既存のベッドコントロールの方法に加え、新規入院患者を増やす新たな工夫が必要 	
		ベッドコントロールの強化	9,300人	8,243人	8,589人	8,962人	△		
		ベッドコントロールの強化	12.7日	12.8日	13.0日	12.4日	○		
	1-3	病棟の再編	実施	検討	検討	実施	○	R6.6にHCUを3床設置、R6.12に7床に増床	
	1-4	院内救急体制の強化	救急車搬入患者数	4,000人	3,914人	4,570人	4,952人	○	R5に救急外来への消防局OBを配置、R6に獨協医科大学埼玉医療センターからの救急医派遣、夜間・土日祝における医師の救急受入れへのインセンティブ制導入など対策を行い目標は達成。ただし、厳しい経営状況にあっては更なる受入れ強化が必要不可欠
	1-5	新たな施設基準等の取得	実施	実施	— (次年度への準備)	実施	○	R4に外来腫瘍化学療法診療料、認知症ケア加算2、連携充実加算を取得。R6にハイケアユニット入院医療管理料1、認知症ケア加算1、糖尿病透析予防指導管理料等を取得。経営改善へさらに取組要	
	1-6	適正な診療報酬請求、査定額の抑制	査定率	0.19%	0.38%	0.32%	0.27%	△	請求レセプトの精度調査を実施したが目標達成できず。DPCコーディングの精度を高めることが課題
1-7	未収金対策の強化	発生目標額	13,000千円	29,450千円	23,378千円	29,298千円	△	電話連絡、督促状を送付し納付がない方は法律事務所に債権委託を行ったが目標達成できず	
費用削減対策	2-1	ジェネリック医薬品の採用及び継続	採用薬品に占めるジェネリック医薬品採用率	88.8%	88.1%	87.9%	88.5%	△	医薬品の供給が不安定な中、積極的にジェネリック医薬品やバイオ後続医薬品への切替えを実施
	2-2	診療材料ベンチマークの活用	診療材料費/医業収益	9.3%	10.2%	10.6%	10.7%	△	診療材料費の抑制に努めたが、物価高騰による漸増に収益改善が追い付かず
	2-3	医療器械等の保守管理料の見直し	実施	実施	実施	実施	○	保守内容の見直しや保守契約業者との価格交渉を実施	
	2-4	企業債の活用	実施	実施	対象なし	実施	○	医療器械備品購入に当たり、支払利息で有利な企業債を活用(R4に430百万円、R6に607百万円)	

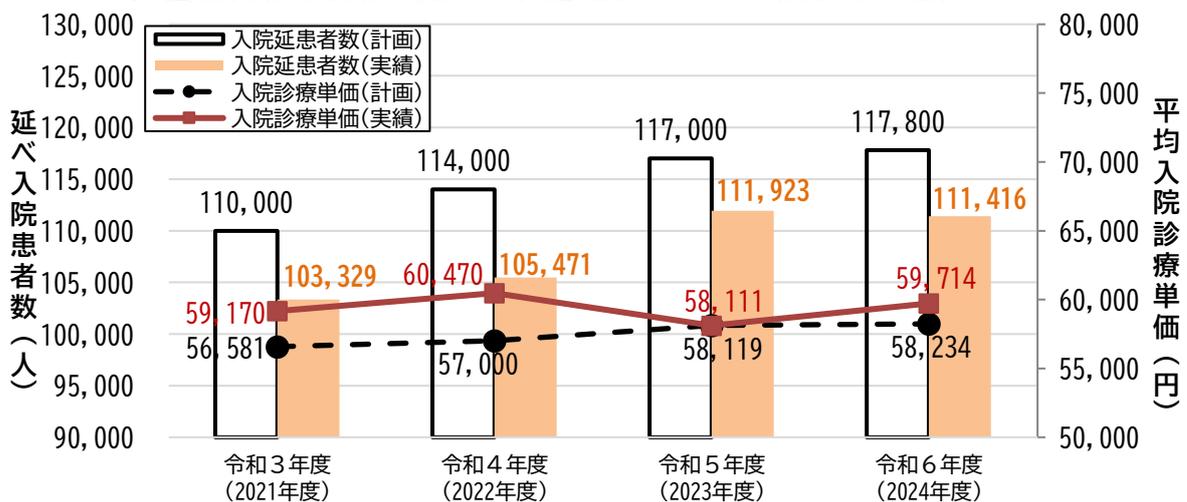
項目		目標	R4 状況	R5 状況	R6 状況	評価	実施内容・分析		
医療の質・患者サービスの向上	3-1	入退院支援体制の充実	実施	検討	実施	実施	○	・患者サポート室と医療連携室を統合した患者サポートセンターをR5.10に設置 ・地域との連携強化のため、ケアマネージャーとの連携(R4に75件、R5に138件、R7に235件)、事業所との年3回以上の面談(R4に25か所、R5に32か所、R6に75か所)を実施	
	3-2	患者等相談体制の充実	年間相談件数	15,300件	17,625件	16,415件	18,041件	○	関係者との「顔の見える関係性」を構築し、相談体制を強化
	3-3	外来化学療法の充実		3,000件	2,892件	2,511件	2,408件	△	専門医の退職等により外来化学療法の実施件数が減少
	3-4	手術症例の確保		3,500件	3,259件	3,394件	3,377件	△	新規入院患者数が伸びず、手術件数の目標も達成できず
	3-5	医療安全の推進		実施	実施	実施	実施	○	医療安全委員会を中心に医療事故や紛争等に予防対策を実施
	3-6	感染防止対策の充実		実施	実施	実施	実施	○	適切な感染対策を実施
	3-7	手術器材等の適正管理		実施	実施	実施	実施	○	手術器材等の適正な管理を継続
	3-8	医療器械の更新		実施	実施	更新なし	実施	△	血管造影撮影装置、生理機能検査システム及び放射線治療マネジメントシステムの更新を行った。R5は赤字が見込まれることから更新見合わせ
	3-9	分娩数の維持	産褥ケアハウス 分娩数	実施 550件	実施 419件	実施 360件	実施 375件	○ △	産後ケア事業「はぐ」を開始(R4に5件R5に5件、R6に10件)。分娩数は少子化の進行等により大きく減少
	3-10	子ども虐待対応院内組織の強化		実施	実施	実施	実施	○	子ども虐待対応委員会を毎月開催し、連携強化や研修を実施
	3-11	認知症ケア委員会の活動推進		実施	実施	実施	実施	○	認知症ケアラウンドや対象患者の症例検討を実施
	3-12	口腔ケア対策の充実		実施	実施	実施	実施	○	越谷市歯科医師会の歯科医師による口腔ケアラウンドを実施(R4に20回、R5に24回、R6に23回)
	3-13	嚥下食等の充実		実施	検討	実施	実施	○	R5.10に見直したメニューで提供を開始
	3-14	医師・看護師等による地域活動の推進		実施	検討	検討	実施	○	R5まで感染症流行で実施できず。R6から市民講座、同行訪問等再開
	3-15	診療情報の活用		実施	実施	実施	実施	○	適切な情報提供を実施
管理運営体制の強化	4-1	病院施設の適正維持管理		検討	検討	検討	検討	○	R4に施設評価を行い、ライフサイクルコストを算出し、保全優先度を勘案した長寿命化計画を策定。R6から建替えを含めた市立病院の在り方を検討
	4-2	埼玉県災害時連携病院としての活動		実施	実施	実施	実施	○	災害訓練、安否確認システム導通試験等を実施
	4-3	職員の健康管理・感染予防の徹底		実施	実施	実施	実施	○	健康診断やストレスチェック・メンタルヘルス相談等を実施
	4-4	外来看護体制の強化		実施	試行	実施	実施	○	一般・救急外来と病棟の2単位での人員配置に再編成
	4-5	人員の適正化		実施	実施	実施	実施	○	・定数に基づいた必要人員を確保 ・合同就職説明会や各学校での就職説明会(オンライン含む)に参加。インターンシップ等を積極的に受入れ
	4-6	臨床研修医受入れ充実	臨床研修医募集人数	8人	8人	8人	8人	○	臨床研修医を概ね予定どおり受入れ
	4-7	人材育成の推進		実施	実施	実施	実施	○	認定看護師、診療情報管理士、看護管理者研修修了者、医師事務作業補助者研修修了者等を育成
	4-8	働き方改革への対応		実施	実施	実施	実施	○	R6に宿日直許可を取得

(2) 財政計画の検証

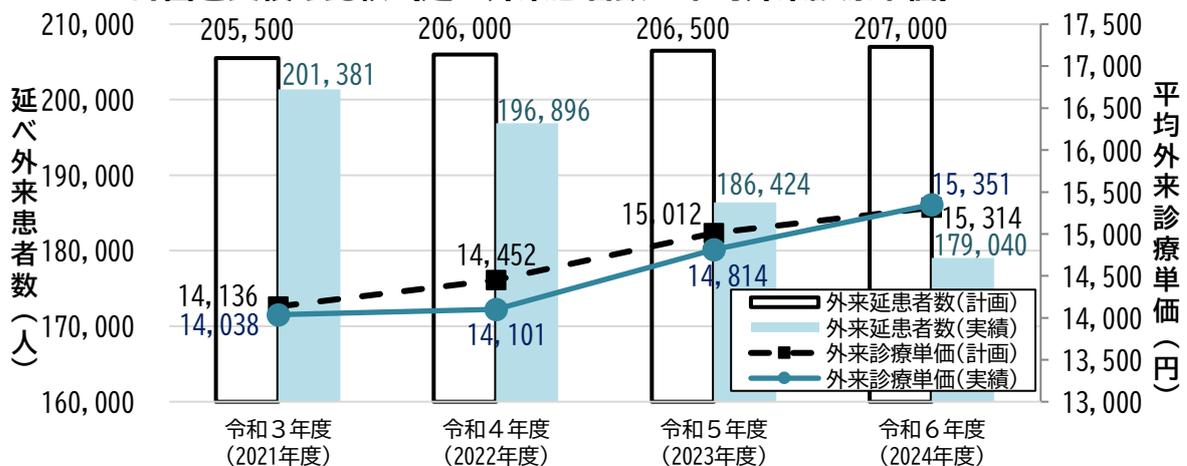
第六期中期経営計画の財政計画について、計画と実績の検証を行いました。

経営指標			令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	評価
入院	新入院患者数	計画	8,500人	8,900人	9,200人	9,300人	△ 目標+9.4%
		実績	8,184人	8,243人	8,570人	8,962人	実績+9.5%
	平均在院日数	計画	12.9日	12.9日	12.8日	12.7日	○ 目標-1.6%
		実績	12.6日	12.8日	13.0日	12.4日	実績-1.6%
延べ入院患者数	計画	110,000人	114,000人	117,000人	117,800人	×	
	実績	103,329人	105,471人	111,923人	111,416人	目標+7.1% 実績+7.8%	
平均入院診療単価	計画	56,581円	57,000円	58,119円	58,234円	◎ 目標+2.9%	
	実績	59,170円	60,470円	58,111円	59,714円	実績+0.9%	
外来	外来延べ患者数	計画	205,500人	206,000人	206,500人	207,000人	-
		実績	201,381人	196,896人	186,424人	179,040人	目標+0.7% 実績-11.1%
	平均外来診療単価	計画	14,136円	14,452円	15,012円	15,314円	○ 目標+8.3%
		実績	14,038円	14,101円	14,814円	15,351円	実績+9.4%

計画と実績の比較（延べ入院患者数・平均入院診療単価）



計画と実績の比較（延べ外来患者数・平均外来診療単価）



入院は、診療単価が目標を上回った一方で、患者数は目標を下回りました。平均在院日数が目標どおり良化していることでベッドの回転がよくなったことに患者の確保が追いついていないと考えられ、この点に一層取り組む必要があります。

外来は、紹介受診重点医療機関となったことなど病診連携が浸透してきた結果、患者数が減りましたが、診療単価は目標どおり良化しています。